



2006年4月12日

報道関係者 各位

このプレスリリースはサノフィ・アベンティス社(本社:フランス・パリ)が4月12日に発表したものを和訳編集したものです。詳細について(英語版)はwww.sanofi-aventis.comにてご覧になれます。

日本での「Rimonabant (リモナバン)」に関する権利を サノフィ・アベンティスに移管

日本におけるプレゼンスの強化の一環として、サノフィ・アベンティス(本社:フランス・パリ、会長兼CEO:ジャン・フランソワ・デュエック)は、本日、サノフィ・アベンティスとアステラス製薬株式会社(本社:東京都、社長:竹中登一)が、現在両社の合弁会社が有している「Rimonabant (リモナバン)」に関わる全ての権利を、本年6月までに合弁会社からサノフィ・アベンティスへ譲渡することで合意したことを発表しました。「Rimonabant (リモナバン)」は危険因子を伴う肥満および禁煙の治療薬として開発されています。なお、日本では合弁会社が肥満症治療薬として現在臨床試験フェーズII bを実施しています。

サノフィ・アベンティスについて

サノフィ・アベンティスは世界では第3位、ヨーロッパでは第1位の製薬会社です。サノフィ・アベンティスは世界クラスの研究開発組織に支えられ、循環器、血栓症、がん、糖尿病、中枢神経系、内科系、ワクチンの主要7治療分野で主導的な地位を占めています。サノフィ・アベンティスは、パリ(Euronext: SAN)およびニューヨーク(NYSE: SNY)に上場しています。

Press release